



# 令和3年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和2年11月10日

上場会社名 トラストホールディングス株式会社  
コード番号 3286 URL <https://www.trust-hd.co.jp>

上場取引所 東 福

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜久田 匡宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 北嶋 重晴

TEL 092-437-8944

四半期報告書提出予定日 令和2年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年6月期第1四半期の連結業績(令和2年7月1日～令和2年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年6月期第1四半期	2,554	4.8	98		117		92	
2年6月期第1四半期	2,683	10.7	61		37		8	

(注) 包括利益 3年6月期第1四半期 95百万円 ( %) 2年6月期第1四半期 7百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年6月期第1四半期	19.30	
2年6月期第1四半期	1.76	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
3年6月期第1四半期	9,670	598	6.2	124.80
2年6月期	9,495	733	7.7	153.12

(参考) 自己資本 3年6月期第1四半期 598百万円 2年6月期 733百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年6月期		8.20		8.20	16.40
3年6月期					
3年6月期(予想)		8.20		8.20	16.40

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 令和3年6月期の連結業績予想(令和2年7月1日～令和3年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	3.2	370	26.8	300	23.2	110	91.0	22.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	3年6月期1Q	5,204,500 株	2年6月期	5,204,500 株
期末自己株式数	3年6月期1Q	412,188 株	2年6月期	412,488 株
期中平均株式数(四半期累計)	3年6月期1Q	4,792,067 株	2年6月期1Q	4,782,812 株

(注) 期末自己株式数は、株式付与 ESO P 信託口が所有する当社株式が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、消費マインドの低下が進み、依然として厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は、経済活動が段階的に引き上げられてはいるものの、感染再拡大の懸念から景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは駐車場事業の収益力向上、不動産事業における新築マンションの販売強化及び駐車場等小口化事業における「トラストパートナーズ」の販売拡大の他、各種事業の収益改善等に注力してまいりました。

以上の結果、売上高は2,554,845千円（前年同期比4.8%減）、営業損失98,771千円（前年同期は61,144千円の営業利益）、経常損失117,350千円（前年同期は37,087千円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は92,489千円（前年同期は8,435千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 駐車場事業

駐車場事業につきましては、緊急事態宣言解除以降、交通量が徐々に回復しつつある中、安心・安全な車室の提供に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は1,668,411千円（前年同期比6.0%減）、営業損失55,466千円（前年同期は129,720千円の営業利益）となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末の駐車場数は867ヶ所（前年同期より60ヶ所増、前連結会計年度末より11ヶ所増）、車室数は32,559車室（前年同期より1,835車室増、前連結会計年度末より108車室減）となっております。

#### ② 不動産事業

不動産事業につきましては、当第1四半期連結会計期間においては、新築マンションの竣工はなく、既竣工物件である「トラスト別府駅前（大分県別府市）」及び「トラスト野間大池公園レジデンス（福岡市南区）」の販売に注力、3戸の引渡を実施しました。

以上の結果、売上高113,528千円（前年同期比64.6%減）、営業損失49,909千円（前年同期は39,084千円の営業損失）となりました。

なお、当連結会計年度におきましては、新築マンション1棟「トラスト鳥栖中央レジデンス（佐賀県鳥栖市、65戸、令和3年3月竣工予定）」の竣工を予定しております。

#### ③ 駐車場等小口化事業

不動産特定共同事業法に基づく駐車場小口化商品「トラストパートナーズ」の販売を中心として行う駐車場等小口化事業につきましては、令和2年8月に「トラストパートナーズ第19号（東京都中央区、販売総額125,000千円）」、令和2年9月に「トラストパートナーズ第20号（福岡県久留米市、佐賀県佐賀市、長崎県佐世保市、宮崎県宮崎市、山口県下関市の5物件、販売総額295,000千円）」を組成、完売いたしました。

以上の結果、売上高430,509千円（前年同期比123.6%増）、営業利益44,499千円（前年同期は5,186千円の営業損失）となりました。

#### ④ メディカルサービス事業

メディカルサービス事業につきましては、「介護老人保健施設みやこ」及び「福岡信和病院」の賃貸収入等により概ね堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高46,506千円（前年同期比0.8%減）、営業利益5,534千円（前年同期比47.2%減）となりました。

#### ⑤ RV事業

RV事業につきましては、キャンピングカー「C-LH」の製造、販売及びレンタルに注力いたしました。

以上の結果、売上高54,682千円（前年同期比16.5%減）、営業損失44,074千円（前年同期は19,871千円の営業損失）となりました。

#### ⑥ その他事業

その他事業につきましては、温浴施設「那珂川清滝（福岡県那珂川市）」、「和楽の湯下関せいりゅう（山口県下関市）」の来館者数回復、水素水関連商品の定期顧客確保及び警備契約獲得等に努めてまいりました。

以上の結果、売上高241,206千円（前年同期比15.1%減）、営業損失253千円（前年同期は16,211千円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比較して179,116千円増加し、5,411,525千円となりました。主な増加要因は、不動産事業における新築マンションの仕掛販売用不動産の増加299,981千円、現金及び預金の増加133,335千円であります。一方、主な減少要因は、駐車場等小口化事業における駐車場小口化商品の販売及び不動産事業における新築マンションの販売による販売用不動産の減少386,561千円です。固定資産は前連結会計年度末と比較して3,876千円減少し、4,259,370千円となりました。主な増加要因は、新規取得による土地の増加59,577千円です。一方、主な減少要因は、投資その他の資産に含まれる投資有価証券の売却による減少30,715千円によるものであります。

この結果、総資産は9,670,896千円となり、前連結会計年度末に比べ、175,240千円増加しました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比較して573,849千円減少し、4,660,210千円となりました。主な減少要因は、短期借入金の返済による減少362,200千円、未払法人税等の納付による減少60,442千円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等の納付による減少98,497千円です。固定負債は前連結会計年度末と比較して884,740千円増加し、4,412,566千円となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加903,042千円です。

この結果、負債合計は9,072,777千円となり、前連結会計年度末に比べ310,891千円増加しました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して135,651千円減少し、598,118千円となりました。主な減少要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による利益剰余金の減少92,489千円、配当金の支払40,691千円です。

この結果、自己資本比率は6.2%（前連結会計年度末は7.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和3年6月期の通期の連結業績予想につきましては、令和2年8月7日に公表いたしました「令和2年6月期決算短信」における連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,718,539	1,851,875
受取手形及び売掛金	162,561	201,757
販売用不動産	792,030	405,468
仕掛販売用不動産	1,073,084	1,373,065
商品及び製品	93,700	154,814
仕掛品	130,244	158,952
原材料及び貯蔵品	68,348	78,608
その他	1,265,279	1,258,730
貸倒引当金	△71,379	△71,747
流動資産合計	5,232,408	5,411,525
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物（純額）	1,484,004	1,465,189
土地	891,908	951,485
その他（純額）	896,204	863,040
有形固定資産合計	3,272,117	3,279,714
<b>無形固定資産</b>		
のれん	95,833	91,633
その他	106,889	102,796
無形固定資産合計	202,722	194,430
投資その他の資産	788,406	785,226
固定資産合計	4,263,247	4,259,370
資産合計	9,495,655	9,670,896

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和2年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,747	214,894
短期借入金	2,893,720	2,531,520
1年内返済予定の長期借入金	1,007,394	1,046,596
未払法人税等	76,258	15,815
ポイント引当金	4,165	3,851
資産除去債務	2,660	1,560
返品調整引当金	147	147
賞与引当金	-	39,132
その他	1,041,967	806,693
流動負債合計	5,234,060	4,660,210
固定負債		
長期借入金	2,766,577	3,669,619
株式給付引当金	14,087	14,528
退職給付に係る負債	73,479	74,124
資産除去債務	104,369	104,615
その他	569,311	549,679
固定負債合計	3,527,825	4,412,566
負債合計	8,761,885	9,072,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	422,996	422,996
資本剰余金	224,086	224,086
利益剰余金	288,608	155,427
自己株式	△203,172	△203,076
株主資本合計	732,520	599,435
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,249	△1,316
その他の包括利益累計額合計	1,249	△1,316
純資産合計	733,770	598,118
負債純資産合計	9,495,655	9,670,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和元年7月1日 至 令和元年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年7月1日 至 令和2年9月30日)
売上高	2,683,828	2,554,845
売上原価	2,077,404	2,142,826
売上総利益	606,424	412,018
販売費及び一般管理費	545,280	510,790
営業利益又は営業損失(△)	61,144	△98,771
営業外収益		
受取利息	94	294
受取配当金	330	212
投資有価証券売却益	-	7,008
その他	8,378	8,011
営業外収益合計	8,803	15,526
営業外費用		
支払利息	29,316	26,124
その他	3,544	7,981
営業外費用合計	32,860	34,105
経常利益又は経常損失(△)	37,087	△117,350
特別損失		
減損損失	3,245	731
特別損失合計	3,245	731
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	33,842	△118,082
法人税、住民税及び事業税	11,973	4,453
法人税等調整額	30,304	△30,047
法人税等合計	42,277	△25,593
四半期純損失(△)	△8,435	△92,489
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,435	△92,489



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和元年7月1日 至 令和元年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和2年7月1日 至 令和2年9月30日)
四半期純損失(△)	△8,435	△92,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,173	△2,566
その他の包括利益合計	1,173	△2,566
四半期包括利益	△7,262	△95,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7,262	△95,055

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症が会計上の見積りに与える影響について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和元年7月1日 至 令和元年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高						
外部顧客への 売上高	1,774,698	320,264	192,533	46,873	65,489	2,399,858
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,006	5,338	5,609	—	—	11,954
計	1,775,704	325,602	198,143	46,873	65,489	2,411,813
セグメント利益 又は損失(△)	129,720	△39,084	△5,186	10,481	△19,871	76,059

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	283,970	2,683,828	—	2,683,828
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	32,316	44,271	△44,271	—
計	316,286	2,728,099	△44,271	2,683,828
セグメント利益 又は損失(△)	△16,211	59,848	1,295	61,144

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、ウォーター事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去138,896千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△137,558千円及び棚卸資産等の調整額△42千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 令和2年7月1日 至 令和2年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	駐車場事業	不動産事業	駐車場等 小口化事業	メディカル サービス事業	R V事業	計
売上高						
外部顧客への 売上高	1,668,411	113,528	430,509	46,506	54,682	2,313,638
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,465	5,710	10,843	—	129	19,147
計	1,670,876	119,238	441,352	46,506	54,811	2,332,785
セグメント利益 又は損失 (△)	△55,466	△49,909	44,499	5,534	△44,074	△99,416

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への 売上高	241,206	2,554,845	—	2,554,845
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	34,474	53,622	△53,622	—
計	275,681	2,608,467	△53,622	2,554,845
セグメント利益 又は損失 (△)	△253	△99,670	898	△98,771

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、温浴事業、ウォーター事業、警備事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、セグメント間取引消去142,613千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△140,118千円及び棚卸資産等の調整額△1,595千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社（持株会社）運営に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。